区政を聞く　一般質問（要旨）

詳しい内容は、会議録（2月中旬発行予定）をご覧ください。会議録は、区議会公式サイトや区政情報コーナー（区役所3階）、図書館などでご覧になれます。

葛飾区議会公明党

防災に配慮した街づくりの推進と社会を担う人材の育成を

新小岩地域の街づくり

問　新小岩公園防災高台整備事業による高台化工事と国や都の堤防事業との違いや、都との調整について伺う。

新小岩公園

答中川堤防から新小岩公園までの間は都の緩傾斜型堤防の区域となっており、また、この区域を含めた新小岩公園の一部が国による高規格堤防を整備していく区域となっている。本区としても新小岩公園の高台化を都市計画マスタープランに位置づけるなど、高台化の実現を目指しており、今後、国や都の関係部署と連携しながら整備内容を調整し、一体的な高台となるよう検討を進めていく。

問　モンチッチ公園や東新小岩二丁目の公園開設にあたり、みんなで楽しみながら学べるイベントのような防災訓練を企画し、新しい公園の周知やコミュニティ形成につながる地域人材の育成を図るべきと思うがどうか。

答防災活動拠点の開設にあたっては、施設等を実際に活用したオープニングセレモニーを実施している。今後、デイキャンプ的な要素を含めた訓練を実施するなど、楽しみながら学べる利活用の工夫をしていきたい。

※他の質問項目　高台整備事業推進の組織横断的チーム　など

水害対策

問　排水場の役割と耐震化などの必要性について伺う。

答排水場は平地である本区市街地を浸水から守る防災施設である。現在稼働中の排水場は、建物の耐震性不足やポンプ・電気設備などに経年劣化が見られており、設備機器の取り替えや部分的な補修で維持管理をしてきたが、今後は、計画的に改修や設備の更新を行っていく。

問　私道排水設備の助成を新設時だけでなく再整備の際にも行うべきと考える。また、排水設備の強度を守るため私道の舗装についても踏み込んだ助成が必要と思うがどうか。

答私道排水設備は昭和50年代から進めてきており、今後改修や改築の時期を迎えること、また近年想定されている地震や水害などに備えるうえでも、質の高い設備が必要であり、排水設備再整備助成や私道整備助成制度の再構築を検討していく。

※他の質問項目　新小岩の排水場跡地の利活用　など

福祉サービスの向上

問　介護ヘルパーや介護福祉士の資格取得助成制度の新設など、介護人材確保の取り組みを拡充していく必要があると思うがどうか。

答介護人材の雇用促進のために実施している「介護のしごと大発見」の開催方法に工夫を加えるほか、資格取得に必要な介護職員初任者研修や実務者研修の受講費用助成の早期実現に向けて検討している。

問　子育て支援施策の拡充のため、有資格者の職場復帰支援など保育士等の人材確保、育成、定着支援策を充実させる必要があると思うがどうか。

答保育士の賃金面での処遇改善の充実や、保育従事職員宿舎借り上げ支援事業を実施するほか、子育て支援員制度の新設などを行い、保育人材の底上げを図っている。さらに、保育士資格を所有しているが現在離職している潜在保育士の現状やニーズを把握するとともに、保育現場で働く希望が持てるようPRをしたうえで現場復帰に必要となる研修や保育所等受け入れる施設側の研修などを研究・検討し、潜在保育士が活躍できる環境の実現に向け取り組んでいく。

問　成年後見に関する相談を区民相談室の各種相談に組み込むなど、広く区民に成年後見センターをPRすべきと思うがどうか。

答区民相談室においても成年後見センターの周知に努めており、専門相談員が相談を受ける中で必要に応じ成年後見センターを案内している。成年後見に関する相談を区民相談室の各種相談に組み込むことを、できるだけ早く実現するよう努力する。

※他の質問項目　エンディングプランサポート事業　など

子どもの健康推進

問　小児生活習慣病予防健診について、学校や保護者への意識づけが大切であり、今後さらに啓発活動を充実させていく必要があると思うがどうか。

答学校関係者が健診の重要性を理解し保護者に対し強く受診への働きかけができるよう、医師等専門家の協力を得て講演会のさらなる充実を図るまた、保護者に対して学校を通じての文書配布や広報などで受診勧奨を行うとともに、医学的管理などが必要な方への相談会を実施する。さらに、未受診家庭の関心を高めるために全体の健診結果を分析しわかりやすい資料を学校に示すなど、各学校が未受診家庭に対して円滑に受診を勧奨できるように取り組んでいく。

※他の質問項目　学校でのアレルギー対策　など

主権者教育

問　小・中学校段階から社会や政治に関心を持たせ、将来の日本や葛飾区を担う人間に育てていくため、教員に対する研修を含め、積極的に主権者教育を拡充させていく必要があると思うがどうか。

答教員の研修については今年度、区内中学校の社会科教員で構成する葛飾区中学校教育研究会社会科部が、区政について学ぶ研修を実施している。今後は社会科や特別活動を中心とした研修や模擬選挙など体験的な活動についての研修を充実させ、将来の日本や葛飾区を担う人材を育てていくために、積極的に主権者教育に取り組んでいく。

※他の質問項目　模擬選挙を実施した生徒や教員の反応　など

日本共産党葛飾区議会議員団

創業支援、介護保険、学童保育など、区民のくらし、営業を支援する計画を

葛飾区総合戦略、中期実施計画

問　浜松市では「創業支援事業計画」の認定を受け、起業促進に力を入れ、開業が廃業を上回る実績を上げている。本区も計画を作る場合、初期の相談から会社設立、創業初期の販路拡大まで切れ目のない支援を行う計画にすべきと思うがどうか。

答本区でも創業支援の充実が必要であると考える。現在策定中の中期実施計画に盛り込むべく、関係機関と協働し、創業前から創業後の経営安定まで、情報やノウハウの提供、資金融資、人材確保など一貫した支援を行う「創業支援事業計画」の策定と事業実施について検討を進めている。

※他の質問項目　介護保険制度の新たな総合事業実施の先送り　など

花の木小学童保育クラブの緊急対策

問　花の木小学童保育クラブで火災があり、現在、花の木児童館で148名の児童の保育を実施している。三季休業開始前までに、すみやかに復旧すべきと思うがどうか。

答需要増にも対応するため、校庭南側に学童保育クラブを設置する経費を補正予算に計上した。現在の建物の応急的な復旧は考えていないが、新たな建物ができるまでは、よりよい保育環境提供のため工夫していく。

葛飾赤十字産院の移転・建替えに伴う問題

問　移転先である新宿図書センターの機能は確保するとしているが、病院等との一体化・併設が検討されており、一体化する場合、長期間、図書センターは閉鎖することになり、区民サービスの低下が懸念される。新病院との一体化・併設は避け、別棟で検討すべきと思うがどうか。

答図書館の整備は同じ敷地内に建設するメリットを活かした産院との連携や利用しやすい図書館の配置、開館時間の拡大などを考慮しながら、地域の皆様に愛される図書館になるよう引き続き検討を進めていく。

※他の質問項目　新病院と主な公共施設を結ぶバス路線新設の検討　など

高砂団地跡地の活用

問　開発の調査や新たな団地整備が決まった以上、改めて特別養護老人ホーム整備のための社会福祉法人への土地の提供を、都に要請すべきと思うがどうか。

高砂団地跡地

答高砂地区開発協議会の勉強会での検討状況を注視しながら、次の建設計画に係る地域開発要綱に基づく都との協議の際に改めて都に要望する。

※他の質問項目　創出用地の施設整備に係る区の積極的な提案　など

公共施設の活用

問　柴又7丁目旧職員寮を外国人向けホステルに改装することが突然報道された。周辺住民から驚き・怒りの声が広がっているがどう受け止めるか。

答今定例会で補正予算を計上し議会に諮るとともに、12月中旬に近隣住民の方への説明会を実施し、安全や環境に関する対応策を説明し、不安や心配に応えていく。

※他の質問項目　低家賃の青年向けの寮や高齢者住宅などへの転用　など

政策　葛飾

健康・保健医療の充実と家庭教育を支援するための条例成立を

区長の区政運営

問　葛飾区はどのような視点で人口の将来展望を示していくのか伺う。

答駅周辺の街づくりの進展による住宅造成の可能性等、社会移動による人口動態を重視して示していく。

問　将来展望を実現するための戦略展開と今後の区政運営の方針を伺う。

答駅周辺のポテンシャルと地域特性を生かした戦略でハード・ソフト両面から総合的な取り組みを進め、夢と誇りあるふるさと葛飾を実現する。

健康政策と保健医療を充実するための政策

問　中期実施計画で区民の健康づくりをどのような方針で取り組むのか伺う。

答区民健康づくり支援、グループ健康づくり支援等の施策を充実し、多くの区民が自ら健康づくりを行えるような健康増進の仕組みを構築する。

問　在宅療養患者・高齢者搬送支援事業をどう評価し、今後この事業をどのように発展させていくのか伺う。

答患者と家族の意思を尊重した医療の提供など地域包括ケアシステムの体制構築に効果的であると評価している。本事業のより一層の活用が図れるよう支援する。

※他の質問項目　医師会との連携強化

家庭教育支援の充実と（仮称）家庭教育支援条例の早期制定

問　家庭教育への支援について、どのような認識で教育を進めているか伺う。

区政を聞く　一般質問（要旨）

詳しい内容は、会議録（2月中旬発行予定）をご覧ください。会議録は、区議会公式サイトや区政情報コーナー（区役所3階）、図書館などでご覧になれます。

答家庭は教育の原点であり、地域や行政などの支援を積極的に進めることが重要である。

問　保護者が家庭教育の内容、子育ての知識等の必要なことを学ぶ機会を提供するべきと思うが区の見解を伺う。

答講座の開催や自主学習会への講師派遣、家庭学習のポイント等を掲載した冊子の配布により、家庭教育の重要性の普及・啓発を推進している。

問　子どもが将来親になることについて学ぶ機会を提供することが必要と思うがどうか。

答学校の家庭科では家庭生活の大切さや家庭の機能を、道徳では充実した家庭生活を築くことを学んでいる。

問　家庭教育の一層の支援をしていくため、早急に家庭教育支援条例の制定が必要だと思うが区の見解を伺う。

答家庭、学校、地域、事業者、行政が各々の特性を生かし相互に連携することは大切であり、条例の必要性については今後研究していく。

※他の質問項目　地域ぐるみで家庭教育を支援する取り組み

家庭教育

民主党　葛飾

地域防災力を高めるために防災自治組織活動の底上げと体制の強化を

地域防災の現状と課題

問　地域での防災訓練参加率の低迷には、どのような課題が考えられるか伺う。

答住民の関心の高いテーマの訓練など取り組みの工夫が必要と考えている。

問　地域防災力を高めるために防災自治組織の活動を底上げするよう、体制の強化をすべきと考えるがどうか。

答地域別地域防災会議の設置など地域の防災力を高める取り組みを強化するとともに、各地域間が情報共有できるような仕組みを検討していく。

※他の質問項目　生活防災の啓発推進

災害時の水の確保

問　災害時、十分に水の確保ができないことも想定されるがどのような対策をするのか。また、学校避難所の水の確保をどう考えているか伺う。

答小学校へのスタンドパイプ型入受水キットの配備や訓練を実施しているほか、避難所への井戸設置などを検討・実施する。

※他の質問項目　大規模集合住宅内の貯水槽への応急給水栓設置　など

問　協定先との自治体間交流について伺う。

答協定先の防災訓練への参加や相互避難体制の構築のための連絡会を設けて、定期的に情報交換を進めている。

問　防災サミットを実施してはどうか。

答他自治体の事例等を情報収集し、相互応援体制のあり方を研究したい。

※他の質問項目　教育交流・住民交流の促進　など

いじめ防止対策

問　外部の専門家の力を借りて、いじめ防止プログラムの学習環境を構築していくべきと考えるが、見解を伺う。

答各小・中学校での未然防止の取り組みに外部の専門家を活用し、充実した学習環境を構築していく。

※他の質問項目　地方いじめ防止基本方針の策定　など

青砥駅前周辺を中心とした街の美化対策と活性化

問　駅前広場の美化対策を進めていくにあたり、アダプトシステムを取り入れるべきと考えるが見解を伺う。

答地元の団体に環境美化の一環として、プランターの花の世話や清掃などの日常管理をお願いするアダプト制度は、きめ細やかな管理が期待できるため駅前広場についても検討したい。

※他の質問項目　リカちゃんコンテストの開催

青砥駅前広場

自由民主党議員団

活気に満ちあふれ安全で安心して暮らせるまちづくりを

特別養護老人ホームの整備促進

問　特別養護老人ホームの整備が円滑に進むよう都に対し貸付料の軽減などを働きかけ地元説明会にも区が積極的に関わるべきと考えるがいかがか。

答定期借地権を設定する際に一時金は徴収せず、貸付料も50％減額する仕組みを活用できるよう都に働きかける。また、整備が円滑に進むよう地元説明会に積極的に関わっていく。

介護予防・日常生活支援総合事業

問　介護予防訪問介護と介護予防通所介護を新たな総合事業に移行するにあたり区の基本的考え方について伺う。

答介護保険の給付状況やサービスの利用実態を踏まえて、利用者のニーズに応じた適切なサービスを適正な利用料で提供することを基本的な考えとしている。

※他の質問項目　サービス体系　など

高齢者生活支援サービス

問　高齢者生活支援サービスは新たな総合事業に統合した後は、どのようなサービス内容になるのか。

答新たな総合事業の訪問型サービスに統合することになる。本人負担は本人の所得に応じて利用料の1割または2割で、1割負担の方の1回あたりの負担額は257円の見込みである。利用回数は、要支援認定者より自立度が高いことを踏まえ週1回となる。

※他の質問項目　利用者説明

新小岩公園高台化

問　新小岩公園防災高台整備事業の経緯や今後の予定について伺う。

答地域の方々の勉強会等の中で高台化の声が上がり、国、都、区の関係部署により検討を進めてきた。平成28年度に代替施設整備を行い、完成後、高台化工事に入る予定である。

※他の質問項目　大規模水害対策

葛飾区立学校における発達障害児への対応

問　来年度より特別支援教室における巡回指導が導入されるが学校や保護者などへの周知、特別支援教室の整備など現在の準備の状況について伺う。

答校園長会などで周知を図り全小学校教職員に校内研修を行った。また、全家庭にリーフレットを配布し通級指導学級設置小学校、総合教育センターで説明会を行い、小学校PTA連合会など関係機関への説明も実施している。教室内の環境整備、教材など各校と協議し準備を進めている。

※他の質問項目　中学校における発達障害の生徒の支援状況　など

亀有地区のまちづくり（亀有リリオ館のリノベーション）

問　プロジェクトに参入する事業者はあるのか、現時点での見通しを伺う。

答ヒアリングの段階で興味を示す事業者がいくつかあり、実現に向けて具体的な協議をさらに進めていくとURから聴いている。来年度中のリニューアルを目指し民間事業者の持つ強み、ノウハウを最大限生かした事業形態を決定し、区、UR、事業者の役割分担など事業スキームを定め実現のため協議を行っていく。

※他の質問項目　観光客の拠点場所

花いっぱいのまちづくりのより大きな区民運動への発展を望む

花いっぱいのまちづくり

問　花いっぱいのまちづくり推進協議会と協働で実施した、かつしか花いっぱいの花壇コンクールの実施結果と今後の方向性について伺う。

答区内全域から、学校の通学路や公園などにつくられた12カ所の花壇がエントリーされた。今回の結果を踏まえ、今後も、より多くの区民が、花いっぱいのまちづくりに参加し、地域の花壇づくりが活発になり、花いっぱいのまちづくりの一層の推進につながるよう、協議会と連携し、内容をさらに充実させていきたい。

※他の質問項目　区民へのPR　など

グローバル人材育成に向けた教育

問　中学生イングリッシュ・キャンプの拡充について伺う。

イングリッシュ・キャンプ

答今年度の試行、平成28年度の本実施を踏まえ、平成29年度に向け、キャンプのプログラムの高度化による質の向上や人員増による参加生徒の拡大、キャンプの日程拡大などの検討を進め、充実を図っていきたい。

※他の質問項目　人材育成の方向性

区民の健康づくり

問　本区のがん検診は、どのような視点で実施されているのか伺う。

答国のがん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針に基づき、公共的な予防対策として実施している。

問　検診車によるがん検診の実施場所の拡大について伺う。

答今年度から高砂地区センターでの実施を開始した。ウェルピアかつしかについても、今月初旬に、検診車の特殊電源の設置工事が完了した。今後は、来年度の実施に向け、受診者予測による実施回数や実際の動線の確認など、詳細をつめていく。

※他の質問項目　健幸マイレージ事業　など

お花茶屋地区の防災対策及び防災活動拠点の整備

問　お花茶屋駅周辺での防災活動拠点の整備の可能性について伺う。

答お花茶屋地区については、上千葉公園、白鳥南公園を防災活動拠点として整備しているが、お花茶屋駅近隣ではない。一定規模以上の公園については、公園の改修に併せて防災活動拠点化していくことを考えており、お花茶屋駅に近接するお花茶屋公園の改修に合わせて整備することも、今後検討していく必要があると認識している。

※他の質問項目　福祉避難所と指定された施設と地域との連携　など

本区を走る京成線に関連する事業

問　京成本線荒川橋梁架替事業は、現在、どの程度進んでいるか伺う。

答詳細設計が実施され、橋梁の設計や工事の施工手順、施工に必要となる用地などについて検討が進められている。国では、平成28年度を目途に、地域の方々へ説明会を実施するなど着手に向けた取り組みを進め、平成30年度頃からの工事着手を目指している。

※他の質問項目　堀切菖蒲園駅から青砥駅間の高架化